



CORPORATE PROFILE

会社案内



受付
JAB '18.8.08
CM021

包括委託業務の管理、技術、営業部門
青梅作業所で認証を取得しています

Business Concept.

当社の業務は、建物等の排水設備から終末処理場に至る公共下水道施設のトータルメンテナンス。

つまり、下水道施設の点検・調査・清掃・補修等、市民生活に重要なライフラインの維持管理を総合的に行うことです。

下水道管路の機能を常に安定した状態に保ち、快適な生活環境を陰ながら支えているのが

私たちICANSEIです。



ICANSEI は、「下水道」と「街」の融和を基軸として

「環境への貢献」を実現します。


現在、我が国の下水道管路の総延長は約46万kmに達し、地球の円周に例えると10倍以上に相当します。都市部での下水道整備はほぼ完了し、築造後50年以上経過した管路施設も少なくありません。

これらの老朽化した下水道管路は、都市機能をおびやかす一因になっています。

このような中、高度な技術を持つICANSEI への期待は高まっています。

ICANSEI は、このような期待にこたえるため、単に業務を請け負うだけに留まらず、あらゆるコンサルタント業務に応えられる人材作り、技術開発による業務の効率化、施工品質の向上に努め、業界をリードする存在としての役割を果たしています。





KANSEIは地域の大静脈である
下水道を常にクリーンにすること
地球の自然環境を守ることに
最新の情報と最高の技術で対応しております。

私たち KANSEI の考え。

—— 管路施設におけるトータルメンテナンスの施工実績をベースにしたシステムで迅速かつ適正に対応します。

ご挨拶

President's Message



代表取締役社長

長谷川 健司

Kenji Hasegawa

半世紀にわたり、日本のインフラを支え続けて——

当社は1962年に創業しました。当時は1964年東京オリンピック開催の2年前で、開催都市のイメージを上げる為インフラの整備が盛んに行われた頃です。下水道も普及促進の時に、処理場の建設、管路の延長も飛躍的に伸びました。この時、当社は既に管路管理の将来を見据え創業しました。建設主体の時でしたから管理は後回しで、必要性も話題にはなりません。その後50年、下水道の普及率は76%を超え、管路延長も46万kmに達するところまで来ました。地球から月までが38万kmですから、それを超える管路施設が日本国内にはあることになります。

昨今、その施設をどう管理するかが課題となっています。老朽化した施設の事故が起きてからでは遅いのです。事前の予防保全が大切な事は過去の歴史が物語っています。都市の地下にある公共下水道施設、生活している家屋やビルの中にある排水設備は、維持・管理が大切で、生活の快適さは管理の賜物と言えます。生活環境の中ではごみ等の悪臭は敬遠されます。人が集まる所は常に快適な空間であってほしいものです。

当社はそのモデル施設として、渋谷区の恵比寿駅西口に「恵比寿KANSEIトイレ」をプロデュースしました。当社の保有している技術を駆使し、快適な公衆トイレを利用者に提供しています。地域に密着し、利用者がまた使いたくなるようなトイレを目指しています。

スマートな都市空間を目指す昨今、当社は下水道施設、排水施設を通して、より良い生活環境をプロデュースしたいと思っています。下水というと「臭い」「汚い」とされるものですが、私達はその概念を「下水道も中々なものだ!」「公衆トイレも悪くない!」と変える事が使命と考えています。

皆様と、共に創造していく事を常に目指し、これからも進めていきます。

美しい地球のために

——我々と一緒に、未来の事業を創り上げていきませんか。

Business style. 事業案内

KANSEI Business Style.

KANSEIは、全国に事業所のネットワークを整備し、年中無休の24時間体制で、排水設備のトラブル等の緊急作業にすばやく対応しています。その機動力は、お客さまから常に高い評価を得ています。

また、公共事業では東京・名古屋・大阪・中国・九州地区に直営の工事部門を置き、地域の下水道管理者および下水道使用者からの要請に対し真摯に対応しています。

KANSEIは、下水道管路施設の維持管理の専門家として、常にお客さまの目線に立ち、下水道サービスを提供しています。

管清工業株式会社



本社

Headquarters



技術部

Technical Department



公共事業部

Public Sewer Department



排水事業部

Drain Pipe Department



運輸事業部

Transport Department

管路管理総合研究所

Research Center of Aqua Management

系列会社

株式会社 カンツール

株式会社 スワレント

環境に対する **KANSEI** の取り組み。

環境保全 Technical Department

環境 Concept.

環境理念

下水道は24時間休むことなく汚水が流れ続け、私たちの生活を支えています。

しかし、汚水が流れていると下水管には砂やゴミなどが堆積し、流れが悪くなったり、管の破損が生じるなど、様々な障害が発生します。その障害を放置しておくとう道路の陥没や土壌・

地下水の汚染など、安全な生活を守るはずの下水道が汚染や災害を招くこととなります。下水道施設の管理は、このような汚染や災害を未然に防止するため、常日頃から適切な利用をし、清掃や調査・補修などを施すことにより下水道が環境に与える負荷を軽減させるための活動です。

そこで私たちは、

「下水道管路施設の維持管理を通して
安全で快適な環境を提供し、自らの活動により環境負荷を削減する」

「下水道使用者が常に満足できるサービスを提供する」

ことを理念とし、

次世代に住みよい、豊かな地球環境を保全することに貢献します。

環境方針

KANSEIは、豊かな地球環境を保全するため

「下水道を守ることだって地球への思いやり」

をスローガンに全従業員および協力会社従業員参加のもと、以下に示す活動を推進します。

維持管理と環境保全

下水道事業における環境負荷を削減するため、維持管理が持つ役割を最大に活かすことができるよう、組織に環境管理体制を整備し、事業活動の持続的発展を推進します。

事業活動と環境保全活動の融合

事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、これを反映させた事業目標を定め、継続的に改善することにより、事業活動の向上を目指します。

法律の遵守

環境関連の法律・規則を遵守し、さらに自主規程を定めて汚染を未然に防止するとともに、より安全で確実なサービスを提供します。

資源の効率的な利用

全ての企業活動において、資源およびエネルギーの効率的な利用と削減を積極的に推進します。

廃棄物の管理と汚染の防止

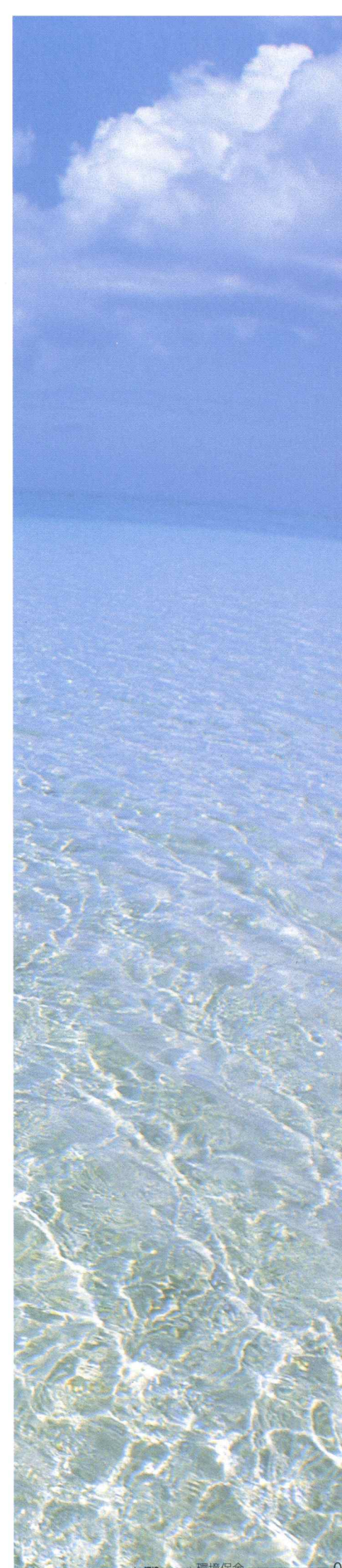
事業活動に伴い発生する汚泥等の産業廃棄物や一般廃棄物は、徹底した管理と削減・リサイクルを推進します。また、その他の地球環境に負荷を与える物質で代替不可な物質については、管理・削減・回収を図り、汚染の防止に努めます。

快適で安全な社会を目指して

技術の導入・向上により、下水道を通して環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の形成に寄与します。

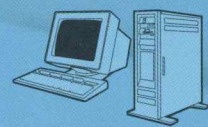
意識の向上

全従業員および協力会社従業員が環境方針を理解し、行動できるよう教育等を実施し、環境に対する意識の向上を推進します。また、委託業者・取引業者・下水道関係者にも環境方針への協力と理解をお願いします。



技術力の向上 = 信頼性の向上。

豊かな「都市生活環境」・「自然環境」の向上に向け、KANSEIは進化を続けます。



技術部
Technical Department

下水道は、「都市の健全な発達および公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全」を目的とし整備されています。しかし、整備された下水道は、維持管理無くして継続的な目的の達成は望めません。また、下水道は地域により施設の構造が異なり、画一的な維持管理を行うことができません。このため、排水施設および管路施設の維持管理を長年行っている KANSEI の蓄積された経験と未来を見つめた維持管理手法の開発を融合させ、下水道管理者および下水道使用者の要望に対し、的確に応えられるよう日々研鑽しています。

下水道維持管理における最先端技術の追求により、環境そして快適な生活に対する都市のニーズに応えます。

Plan1 維持管理計画

下水道施設は問題が発生すると重大事故に発展する恐れがあり、日頃から予防的観点に立ち、計画的な維持管理を行うことが重要になります。



■ 既存資料の整理・分析

下水道施設に関連する資料を収集整理・分析し、現在問題を抱えている箇所を中心に効率的な維持管理方法を立案します。

■ 定期点検および調査

巡視点検としてマンホール内調査を行い、その結果をもとに詳細調査のプランを立てます。

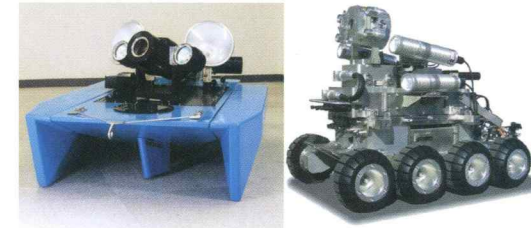
点検・調査・清掃等の記録をいつでも閲覧できるようにシステム化し、効率的な維持管理計画に役立てます。

■ 診断

既存資料や点検・調査資料から実態調査または詳細調査が必要な箇所の選定および優先順位付けを行います。定期点検および調査結果を基に、次年度の維持管理計画を立案します。



既存資料の収集



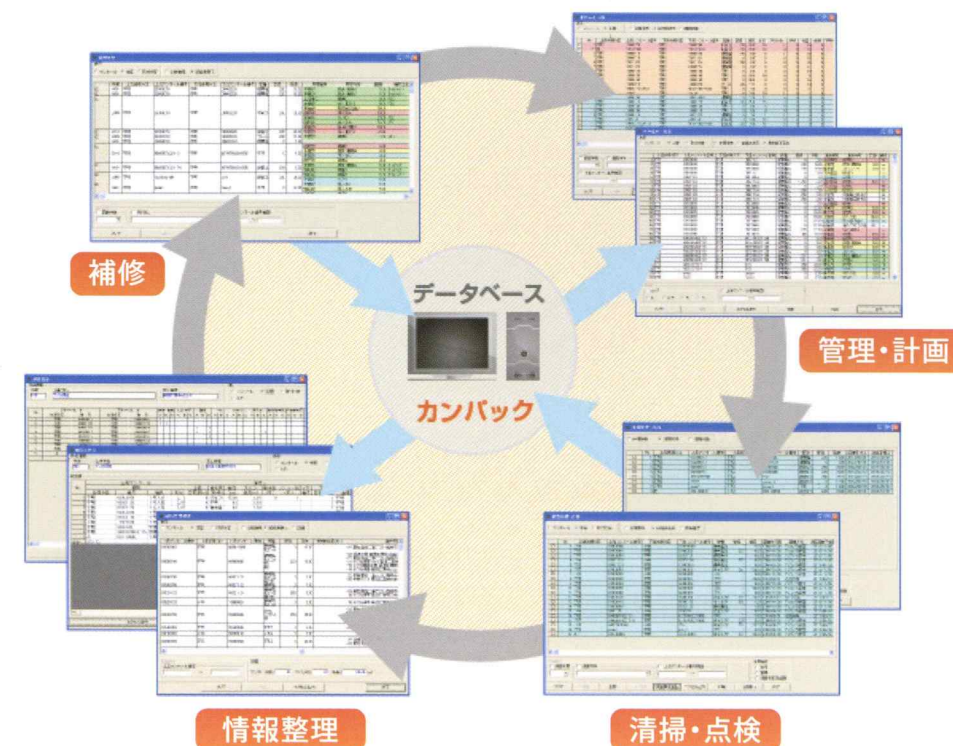
ビーバー・グランドビーバー（大口径管調査システム）
危険な大口径管内を調査員に代わって詳細に調査します。

これらの作業を計画的に行うことで、維持管理コストの低減や大規模事故を未然に防止することができます。年次の維持管理計画の中には、実態調査、詳細調査があり、その結果を基に清掃や修繕・改築方法の検討および提案を行います。

Plan2 システム開発

KANSEI 独自にてシステム開発を行っており、「カンバック（下水道管路施設維持管理システム）」をはじめとした自治体向けシステムを提案しています。

●カンバック（下水道管路施設維持管理システム）



Plan3 流量解析業務

都市が抱える問題で、雨天時マンホールからの溢水や不明水の増加に伴う処理場負荷の増大等、下水流量にかかわる諸問題を既存資料や流量データ等を解析することにより、改善提案をしています。

Plan4 水質調査業務

下水道が抱える硫化水素問題等の改善のため、下水道の水質分析を行い、問題の解決に役立てます。



流量調査

調査報告書等の維持管理記録を始め関連する情報を一元管理し、情報の有効活用ができるシステムです。

下水道を守ることは地球への思いやり。

最適な「下水道環境」は、現在そして未来の大切な「水環境」を守ります。

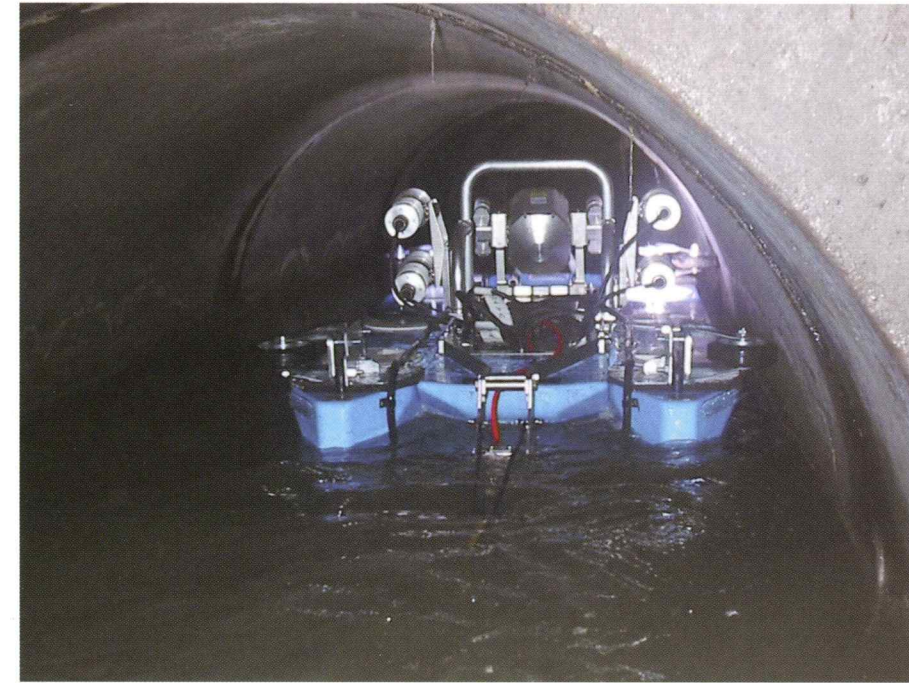


公共事業部
Public Sewer Department

下水道は、私達に快適な生活をもたらしてくれるばかりでなく、水環境を守る要でもあります。下水道が持っている多面的な機能を安定して発揮させるには、適切なメンテナンスが必要です。KANSEIは、管路施設における清掃・調査・補修を統合したトータルメンテナンスをベースに、地下に広がる下水道の様々な問題に対して、迅速かつ適正な対応を可能とする体制を確立しており、最先端の技術と豊富な経験を活かし、より最適な「下水道環境」の維持管理を実現します。

下水道が持つ多面的機能を安定して発揮できるよう、管路施設における総合的マネジメントを提供します。

■ ビーバー・グランドビーバー (大口径管調査システム)



※土砂の堆積等、ビーバーでは対応できない場合にグランドビーバーで調査します。

Plan1 清掃

管路施設は、生活排水・事業場排水・自然水(雨水・地下水)などで構成された下水を処理施設まで運ぶための施設です。KANSEIは、施設の種類、土砂の堆積状況および作業環境を考慮し、最適な清掃方法を選定します。

- 堆積土砂の清掃
- 木根除去
- モルタル除去
- 付着油脂除去

Plan2 調査

管路施設の現状をあらゆる角度から究明・解析し、同時に施設周辺環境への影響を診断することが可能です。KANSEIは、調査目的、施設の種類、作業条件等から最適な調査方法を選定します。

- 目視調査
- TVカメラ調査
- 大口径管調査
(ビーバー・ビーバーキャディ・グランドビーバー)
- 送煙調査
- 流量調査
- 注水試験
- 管きよ不陸調査
- 不明水対策調査

Plan3 補修

施設の機能低下を調査等により発見した場合は、速やかに適切な補修を施す必要があります。KANSEIは、精度の高い調査結果を基に、最適な補修工法を選定します。

■ 全面補修(人孔間補修)

- オールライナー工法(形成工法)
- ダンビー工法、パルテムフローリング工法(製管工法)
- ホースライニング工法(反転工法)

■ 部分補修

- パートライナー工法
- パートライナーS工法
- 取付管補修
- サイドライナー工法

■ マンホール浮上抑制工法

- 安心マンホール工法
- フロートレス工法
- 人孔補修・防食
- MLR工法
- クリスタルライニング工法

■ 耐震化工法

- ガリガリ君



現場での保安規制



オールライナー工法による補修作業



下水管清掃作業



グランドビーバー(大口径管調査システム)

美しい環境づくりのお手伝い。

「水」との最良の関係が、快適な「暮らし環境」の基本です。



排水事業部
Drain Pipe Department

排水設備とは、家庭や職場などあらゆる建築物で使用した水を、下水道管路へ導く設備の総称です。土地の占有者→建築物or建物の所有者により、この排水設備の管理を行うことが定められています。建築物内に複合する排水設備は「暮らし」に密接しており、閉塞・老朽化等の原因により汚水の逆流や漏水等のトラブルにつながることもあり、直接「暮らし」に多大な悪影響を及ぼします。快適な「暮らし環境」を保つためにICANSEIは、様々な排水をストレスなく最も安定した状態で下水道施設へ導くことが大切であると考えます。

暮らしに密接した排水設備を最大限に機能させるために、多岐にわたりサポートします。



高圧洗浄車
高圧洗浄機を搭載し、管径に合わせたノズルをホース先端に取り付け管内を洗浄します。

Plan1 清掃

高圧洗浄車やフレキシロッター等の各種清掃機器を用いて、最適な方式で清掃します。

- 排水管詰まり緊急清掃
- 各種ビルの排水主管清掃
- マンションの全館清掃
- 各種ビルのトイレ関係清掃
- ホテルの浴室等の詰まり清掃
- 飲食店の厨房・グリストラップの清掃
- ルーフドレンの遊離石灰等の除去
- 工場内の排水管の清掃
- 貯水槽の清掃
- 汚水槽・雑排水槽の清掃

Plan2 調査

排水不良や閉塞トラブルの原因調査や破損や腐食の実態調査等、状況と目的に応じ様々な調査をします。

- 内視鏡調査
- TVカメラ調査
- 劣化調査

Plan3 補修

既設管内面をライニング工法により非開削にて補修します。

- ミニライナー工法
- オールライナー工法
- パートライナー工法



現場での保安規制



全館清掃作業
洗面系統の横引き管をフレキシロッターを使用し、清掃します。



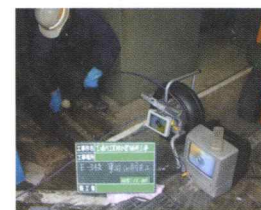
ミニライナー工法による補修(施工前→施工後)



貯水槽清掃
容量10m³以上の貯水槽は1年に1回の定期清掃を実施するように、法律で規定されています。



清掃
高圧洗浄機を用いて管内の清掃を行い、堆積物および内面付着物を除去します。



調査
取付管TVカメラを管内へ挿入し調査します。管内の映像を収録し、不良箇所はモニターから静止画像として記録します。



補修1
ミニライナー工法では、補修用の樹脂をエアーを注入したライナーホースを管口に挿入し、反転を開始します。反転完了後、エアーで圧力保持し、蒸気で加熱硬化後、管口でライナーホースを切断し、管口仕上げを行います。



補修2
エアーを注入したライナーホースを管口に挿入し、反転を開始します。反転完了後、エアーで圧力保持し、蒸気で加熱硬化後、管口でライナーホースを切断し、管口仕上げを行います。

安全な作業を第一に。

迅速かつ正確な作業は「安全環境」から始まります。

運輸事業部 Transport Department

JR・私鉄・東京メトロの建築物および土木関係の鉄道・空港・港湾施設で清掃、調査、補修、修繕等の作業により都市機能を支えます。

建築関係

Plan1 清掃

- 駅構内・駅ビル・駅ナカ店舗
 - 排水主管の清掃
 - トイレ関係の清掃
 - グリストラップの清掃
 - 汚水槽・雑排水槽の清掃
- 社宅・事務所
 - 排水管等の緊急清掃
 - 全館清掃・定期清掃
 - 貯水槽の清掃

Plan2 調査

- 排水管・汚水管
 - TVカメラ調査
 - 劣化調査
 - 超音波厚さ計による調査
 - X線による調査
 - 抜管による調査

Plan3 補修

- 排水管
 - ミニライナー工法

土木関係

Plan1 清掃

- 整備基地
 - 構内排水管の清掃
 - トイレ関係の清掃
 - 特殊排水・除外施設の清掃
- トンネル
 - 壁面の清掃
 - 軌道面の清掃
 - 側溝・センタードレンの清掃
 - ポンプ室の清掃・害虫駆除

Plan2 調査

- トンネル
 - 目視調査
 - 連結送水管
 - 点検
- 排水管および伏び管
 - TVカメラ調査

Plan3 修繕

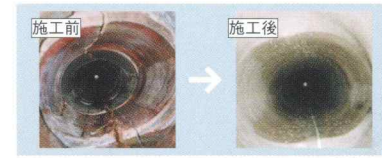
- 伏び管
 - オールライナー工法
 - パートライナー工法
 - モルタル注入工法



作業前の安全点検ミーティング



ポンプ室のミニライナー工法による補修 (施工前→施工後)



伏び管のオールライナー工法による補修 (施工前→施工後)



軌道面清掃



対向壁調査



建築関係
駅構内・駅ナカ店舗・駅ビルの排水管やグリストラップ、トイレ、社宅の貯水槽等を清掃します。

土木関係
トンネルの壁面や軌道面等を高圧洗浄機等により清掃します。また老朽化した伏び管も修繕します。空港・港湾施設内の排水管の清掃・調査・補修・修繕をします。

運輸関連における事故は、乗客の方々の生命に直接関わるものです。このため、絶対に事故を起こさない現場体制を構築する必要があります。KANSEIでは、あらゆる作業工程に対して、安全性を追求したシステム化の実現を図り、正確かつ迅速な作業進行と緻密な安全確認の両立を展開しております。さらに作業員一人ひとりが自ら考え、自ら行動し安全に対する意識の向上が、最重要項目であると考えます。

下水道の明るい未来のために・・・

—— 今、私たちにできること。そして未来のためにできること。

管路管理総合研究所

Research Center of Aqua Management

生活に欠かせない水のこと、一緒に考えてみませんか

「下水道とは？」

私たちの出前授業は、この問いかけから始まります。

下水道は、毎日の生活に欠かせないライフラインですが、利用する人にとっては見えない存在です。ひとたび下水道に問題が起されば、使って汚れた水が川や海に流れ、やがて人々の生活に深刻な影響を及ぼします。こうした事実がどれほど認識されているのか、我々は把握できていませんでした。「利用者の皆さまの下水道への理解を知りたい。理解が低ければ、下水道を知っていただきたい。」…そんな思いから活動を開始しました。「皆さまにとっての下水道とは？」が、私たちの活動の原点です。



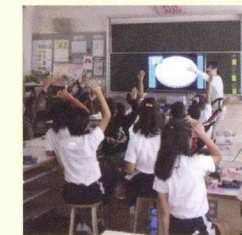
活動内容

全国出前授業

対象ごとに最適なプログラムで授業を行います。

1 小学4年生

学習指導要領に沿った「わかりやすく楽しい」授業をモットーとしております。



2 中学・高校生

環境学習としてのご依頼が中心です。学習の目的に合わせてご相談を承ります。



3 大学生

都市デザイン、環境科学での講義や、機器の実演を交えた職業紹介も行っております。



4 成人

高齢者向けの生涯学習や、自治会向け等、ご要望に応じて対応いたします。



5 自治体・企業

自治体主催の出前授業への講師派遣や、下水処理場見学者への事前説明も行っております。企業様向けには主に新入社員を対象とした授業を実施しております。



6 イベント

環境イベントでは、クイズ大会を開き、「遊んで学べる」下水道のお話を実施します。屋内外問わず、就学前のお子さんにも楽しめる内容です。



下水道展

下水道は、安全で快適な生活環境を支えています。弊社は、下水道を次世代へ維持できるよう、多くの実績を元に技術力を磨き、管理体制を強化して参りました。下水道展では、業務実績や業務での使用機械をパネルで分かりやすく紹介するとともに、下水道の総合維持管理についての相談に対するご提案も行っています。



展示ブース

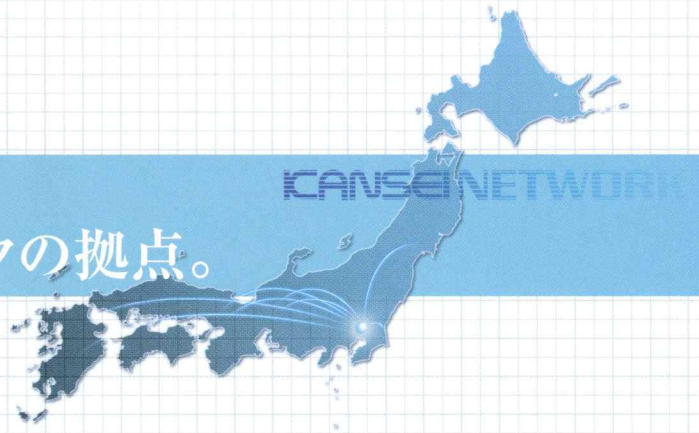


来客風景

物事を適切に判断するためには、正しい認識や知識が不可欠です。

下水道事業は環境事業の一つの柱です。美しい環境を次世代に繋ぐために的確な事業運営ができるよう、現在の下水道事業(サービス)を広く正しく知っていただく、お手伝いできればと考えています。

全国に広がる KANSEIネットワークの拠点。



本社



〒158-0098 東京都世田谷区上用賀1-7-3
TEL.03-3709-5151 FAX.03-3709-4338

横浜技術センター



〒241-0803 神奈川県横浜市旭区川井本町66
TEL.045-955-1445 FAX.045-953-2900

大阪テクニカルヤード



〒174-0053 大阪府大東市新田旭町1-12
TEL.072-392-8460 FAX.072-392-8463



<http://www.kansei-pipe.co.jp>